

講義科目名称： 老年看護学特別演習Ⅲ(老年看護学研究)

授業コード： 6630700700

英文科目名称： Seminar of Gerontological NursingⅢ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 老人看護CNS必修
担当教員			
◎小長谷百絵、原等子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間			
	【担当教員】				
	【氏名】 ◎小長谷百絵 原 等子	【所属】 新潟県立看護大学 同上	【研究室】 213 303	【メールアドレス】 konagaya@niigata-cn.ac.jp naohara@niigata-cn.ac.jp	
	【本学の科目区分】 専門分野				
	【D P 1】 ◎	【D P 2】 ○	【D P 3】 ○	【D P 4】 ○	【D P 5】 ◎

到達目標	1. 老年看護の実践経験や既修の科目および文献検討等から研究の背景の明確化をはかり，研究課題を設定できる。 2. 研究の目的・意義を明確にし，目的達成のための研究デザインと方法（研究協力者，データ収集方法，分析方法）および倫理的配慮を検討して研究計画案を作成できる。 3. 研究計画案作成まで，及びその後の研究活動から論文作成までの実行計画を立案できる。			
授業概要	老年看護にかかわる関心領域に関する研究課題の動向を把握する。受講生は学修課題，学修内容に基づいて調べて発表資料を作成し，ゼミ形式により報告・討議する。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：・授業のガイダンス ・特別研究・課題研究の確認 学修内容：・授業の目標・内容・方法（進め方）・評価方法，受講・課題・資料配布等のルールの説明 ・研究コースの専門領域特別研究，CNS コースの課題研究として取り組む研究についての確認 備考：小長谷 原		
	2-3	授業内容 授業形態：セルフ・ラーニング 学修課題：研究課題の検討① 学修内容：・研究課題着想の動機と背景（実践経験，既修の科目，文献のレビュー・クリティーク），専門学会等への参加などを通じて，研究課題を設定する。 備考：小長谷 原		
	4-5	授業内容 授業形態：演習（発表・討議） 学修課題：研究課題の検討② 学修内容：上記の取り組みの発表・討議を通じて，研究課題名，研究の背景（動機・文献レビュー）の精度を高める。 備考：小長谷 原		
	6-7	授業内容 授業形態：演習（発表・討議） 学修課題：研究課題の検討③ 学修内容：上記の取り組みの発表・討議を通じて，研究課題名，研究の背景（動機・文献レビュー）の精度を高める。 備考：小長谷 原		
	8-11	授業内容 授業形態：セルフ・ラーニング 学修課題：研究計画書の作成① 学修内容：・研究の目的・意義の明確化 ・研究目的を達成する研究デザイン・方法（研究協力者，データ収集方法，分析方法）の明確化 ・倫理的配慮の文章化 備考：小長谷 原		
	12-13	授業内容 授業形態：演習（発表・討議） 学修課題：研究計画書の作成② 学修内容：上記の取り組みの発表・討議を通じて，研究課題名，研究計画書の精度を高める。 備考：小長谷 原		
	14-15	授業内容		

	授業形態：演習（発表・討議） 学修課題：研究計画書の作成③ 学修内容：上記の取組みの発表・討議を通じて、研究課題名、研究計画案の精度を高める。 備考：小長谷 原
事前・事後学習	事前学修：自己の看護実践を振り返り課題を明確にする。 事後学修：講義内討議を振り返り看護研究計画作成上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。
評価方法、評価基準	到達目標1～3に対して研究計画作成過程の取組状況：50%，授業への参加度：50%により評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため現時点では指定せず授業内で案内する
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護学研究法」で紹介された文献 ・研究課題に即した既修の科目の授業で紹介された文献 ＊そのほか授業の中で随時紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	講義・演習および演習は、ゼミ形式（学修の課題・内容を事前に調べ、授業では発表・討議）で進める ・詳細は初回開講時にガイダンスする。
教員からのメッセージ	後続する研究活動も含めて長期にわたるため、セルフケアしつつ、老年看護学や老年看護の実践現場に貢献する研究課題の明確化と研究計画書作成に取り組むことを期待しています。
オフィスアワー	随時（メール調整）